



ハンマー用コアビット600W ハンマー用コアビット 取扱説明書

《用途》

◎ハンマー用コアビット600W

無筋コンクリート、ブロック、レンガなどへの穴あけ作業に

◎ハンマー用コアビット

鉄筋コンクリートなどへの穴あけ作業に。

《特長》

- ・軽量型ハンマードリルのパワーを効率良く刃先に伝える構造によりスピーディーな大口径穴あけが可能です。（ハンマー用コアビット600W）
- ・重量型ハンマードリルの強力パワーを効率良く刃先に伝える構造によりコンクリートも高速で穴あけが可能です。（ハンマー用コアビット）
- ・センターピン方式の採用により正確な位置決めが出来ます。

⚠ 警 告

- 1) 無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにして下さい。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をして下さい。
- 2) 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにして下さい。
- 3) 目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用して下さい。
- 4) 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意して下さい。
- 5) 穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっていますので、火傷をしないよう保護手袋等を着用して下さい。但しカッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないで下さい。
- 6) カッター、及びセンターピンの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンターピンだけがや火傷をしないように、注意して下さい。
- 7) カッターとシャンクの着脱時は電動機の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行って下さい。
- 8) ご使用になる電動機の「取扱説明書」をよく理解された後、ご使用下さい。
- 9) その他の注意点につきましては、取扱説明書の裏面をご覧ください。

《適合電動機》

◎ハンマー用コアビット600W

軽量型ハンマードリル（600W程度まで）

シャンク形状：SDS-プラス

◎ハンマー用コアビット

重量型ハンマードリル（1000W以上）

シャンク形状：六角軸シャンク・SDS-maxシャンク

⚠ 注 意

- 1) 電動機は必ず「回転+打撃モード」で使用して下さい。
- 2) 穴あけ途中は、絶対に回転を止めないで下さい。（刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります）回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めて下さい。
- 3) 切削片がカッターから出にくい場合はカッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出して下さい。
- 4) 連続して穴あけを行う場合は1穴毎に切削片、切粉を取り除いてから作業して下さい。
- 5) 深穴等の穴あけで切粉の排出が悪くなった時は、途中で切削片を折り、取り出した後作業を続けるとスムーズに作業が行えます。

-----以下は『ハンマー用コアビット』使用时-----

- 6) 鉄筋を切った後等、切削片がカッター内で折れている場合は、切削片を取り除いてから作業を続けて下さい。
- 7) 鉄筋への当たり方によっては鉄筋切断後、切削片が刃先に詰まり回転が止まる場合があります。このような時は鉄筋の切削片を取り除いてから作業を続けて下さい。そのまま続けると刃先破損の原因となります。

《仕様》

	サイズ構成 (mm)	有効長 (mm)	カッター長 (mm)	シャンク形状
ハンマーコア 600W	25～100	70	105	SDS-プラス
ハンマー用コア	25～150	100	150	六角軸・SDS-max

◎ハンマーコア600W

《刃先径とシャンク・センターピンの組み合わせ》

刃先径 (mm)	シャンク 品名	センターピン 品名	品番
25・29	No.601	No.600	600WCP0
32～38	No.601	No.601	600WCP1
45～100	No.602	No.602	600WCP2

《シャンク仕様》

品名	SDS-プラス 全長(mm)	品番
No.601 (φ25～38)	105	600WSK1105
	200	600WSK1200
	300	600WSK1300
No.602 (φ45～100)	105	600WSK2105
	200	600WSK2200
	300	600WSK2300

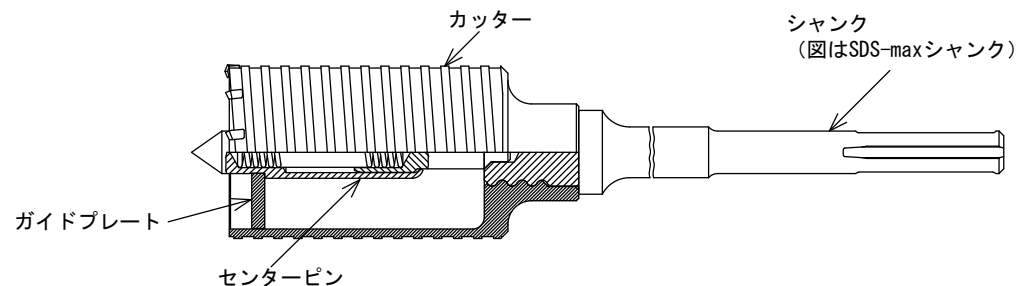
《使用方法》

- (1) シャンクを電動機に取り付けます。
シャンクの取付方法は電動機の取扱説明書をお読み下さい。
- (2) カッターをシャンクにねじ込みます。
- (3) カッター径に応じたガイドプレートセンターピンを取り付け、シャンクに装着します。
- (4) センターピンの中心を穴あけ位置の中心に合わせ電動機のスイッチを入れて下さい。
- (5) 5mm程切り込んだら、一旦穴あけを中断しセンターピンをカッターから取り外した後、穴あけを継続して下さい。

《カッターの取り外し方法》

カッターがシャンクから外れなくなった時は、電動機にシャンク・カッターを取り付けた状態で刃先を上向きにして電動機のスイッチを入れ「空打ち」をして下さい。
※電動機の機種によっては「空打ち」出来ない機種もあります。

《構成図》※図はハンマー用コアビット



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

〒673-0443

兵庫県三木市別所町巴19番地

URL

<https://www.miyana.co.jp>

受注センター

受付窓口

商品お問い合わせ窓口

FAX

☎ 0120-81-3875

☎ 0120-3875-14

☎ 0120-3875-17

4955020-4

正しく安全にお使いいただくために

本商品は刃物です。使用方法によっては危険な事態が発生する場合があります。必ず、取扱説明書に書かれていることを守り、常識的な取り扱いをしてください。使用条件等ご不明の点は当社にご確認下さい。以下の説明で、「警告」とは取り扱いを誤った場合、使用者又は第三者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合。「注意」とは取り扱いを誤った場合、使用者又は第三者が傷害を負う危険が想定される場合、ならびに物的傷害の発生が想定される場合をいいます。

⚠ 警 告

下記の事項を守って下さい	守られない場合	下記の事態が想定されます
取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には使わせないで下さい。この商品を人に貸す場合は、取扱説明書も共に貸し出して下さい。	本商品の取扱説明書・警告ラベルの指示通りの取り扱いをされないと。	けがをする危険があります。
電動機の取り扱い、電動機の取扱説明書の指示通りして下さい。	電動機の取扱説明書の指示通り取り扱いをされないと	
保護メガネを着用して下さい。	穴あけにより発生する切り粉が目に入り	失明の危険があります。
マスクを着用して下さい。	穴あけにより発生する切り粉により	呼吸器障害を起こす危険があります。
ズボンの裾、衣類の袖は広がった状態とはしないで下さい。	ズボンの裾、衣類の袖が広がっていると	
ネクタイ、首手ぬぐい等は取り外して下さい。	ネクタイ、首手ぬぐい等をしていると	刃物に巻き込まれ、けがをする危険があります。
長髪は防止やヘアーカバーで覆って下さい。	長髪が	
手袋を着用しないで下さい。	手袋を着用していると	
回転中の刃物には手を触れないで下さい。	回転中の刃物に手を触れると	
刃物の回転中は、切粉を取り除かないで下さい。	刃物回転中に切り粉を取り除くと	切り粉、刃物により、けがをする危険があります。
電動機を両手で確実に保持して下さい。	電動機を確実に保持していないと	
足元をしっかりとさせ、バランスを保って作業をして下さい。	無理な姿勢で作業をしていると	
穴あけ対象物に対し、まっすぐに穴あけをして下さい。	穴あけ対象物に対して斜めに穴あけをされますと	電動機に振り回された場合、けがをする危険があります。
電動機を保持する体力がない人は使用しないで下さい。	電動機を保持する体力がないため	
クラッチ付き電動機を使用して下さい。	刃物がカミコミを起こすと	
保護帽を着用して下さい。	保護帽を着用していないと	
穴あけ対象物はクランプ・万力等でしっかりと固定して下さい。	穴あけ対象物がしっかりと固定されていないと	穴あけ対象物が動いて、けがをする危険があります。
使用前に刃物の点検を十分に行之、損傷があれば絶対に使用しないで下さい。	刃物に損傷した部分があると	刃物が破損し、けがをする危険があります。
高所作業では安全帯を着用して下さい。	安全帯を着用していないと	高所作業で転落する危険があります。
切りかす落下防止処置をとると共に、作業現場には第三者の立ち入りを制限して下さい。	高所作業で切りかすが落下すると	切りかすにより第三者にけがをさせる危険があります。

⚠ 注 意

下記の事項を守って下さい	守られない場合	下記の事態が想定されます
刃物は穴あけ対象物に適したものである事を確認して下さい。(用途の欄を参照して下さい。)	適していないと	刃物が破損し、けがの危険があります。
穴あけ対象物又は被切削物に適した回転数、送り量で作業を行って下さい。	回転数、送り量が適切でないと	穴あけ対象物、被切削材又は刃物の破損により、けがをする危険があります。
刃物、センタードリル・センターピンの着脱を行う時は素手で行わないで下さい。	素手で行うと	刃先等により、けがの危険があります。
切り粉を取り除く場合は、素手で行わないで下さい。		切粉によるけが、やけどの危険があります。
カッターとシャンクの取り付けは、確実にロックされている事を確認して下さい。	ロックされていないと	穴あけ時にカッターが外れ、けがをする危険があります。
穴あけ後のカッターに素手で触れないで下さい。	素手で触れると	やけどの危険があります。
高所作業で穴あけをされていない場合、刃物の落下に注意して下さい。	穴あけ中以外は刃物が外れやすくなっていますので	刃物が落下し第三者にけがをさせる危険があります。
使用しない場合、子供の手の届かない場所に保管して下さい。	子供が触った場合	けがの危険があります